

令和6年度 里山辺公民館決算書

(単位:円)

歳入		歳出	
項目	決算額	項目	決算額
町会分担金	1,868,000	学習活動費	370,370
補助金	262,420	館報編集費	30,000
雑収入	54,355	図書視聴覚事業費	105,000
繰越金	2,467,745	体育事業費	1,132,861
戻入金	276,748	文化事業費	144,196
合計	4,929,268	まちづくり事業費	275,031
令和6年度事業費繰越内訳		委託費	0
令和7年度	150,000	事務費等	343,737
年度当初事業費		補助金	80,000
スポーツ行事用費	500,000	分担金	10,000
備品購入費		印刷製本費	0
文化祭用備品購入費	800,000	会議費	34,642
公民館消耗品購入費	200,000	保険料、慶弔費	143,360
公民館備品購入費	500,000	次年度繰越金	2,260,071
その他事業費、予備費	110,071	合計	4,929,268

令和7年度公民館事業

- ◆本年度、計画している一年間の主な事業は次のとおりです。
- ◆第10回里山辺地区親睦ゴルフ大会 5月20日(火)
 - ◆里山辺地区 軟式野球ソフトバレーボール大会 6月1日(日)
 - ◆里山辺地区マレットゴルフ大会 8月19日(火)
 - ◆第70回里山辺地区大運動会 10月19日(日)
 - ◆第50回 里山辺地区文化祭 11月1日(土・日)
 - ◆里山辺地区第68回卓球大会 第45回ゲートボール大会 11月23日(日)
 - ◆立憲式 2月7日(土)

鬼川寺の枝垂れ桜、薄川の桜、地区内の名所と言われる桜の樹々が、今年も可憐で優美な花を魅せてくれました。『桜指数六百』という言葉をご存じの方は多いと思います。2月1日から一日の最高気温を積算していきます、それが六百に達すると開花するということです。

数年来続いたコロナ禍によって、地域住民の方々の公民館活動への情熱は否応なく抑えられ、生活様式や価値観にも少なからず変容をもたらした、様々な面で過渡期にあると言えます。

この里山辺地区は、全市35地区の中でも社会教育分野のインフラがとりわけ整っている地域だと言いつても間違いありません。

皆さんの公民館活動に対する情熱を桜指数に例えるならば、開花のための指数六百を凌駕する熱量をすでにお持ちなのだと思います。

本年度は小幡前館長、さらにはその先代館長さんの業績に敬意を表し、付けてくださった道筋を辿りながら、この時代の過渡期の中で事業を展開してまいります。皆様の協力とご支援、そしてご指導をお願い申し上げます。

公民館長 手島 学



さくらやまべ

2025年5月1日現在

世帯数 : 5,608戸
男 : 5,751人
女 : 6,177人
計 : 11,928人

令和7年度「公民館活動」について過渡期の中の「リスタート」活動



里山辺地区 公民館長

手島 学

新任のご挨拶

新任公民館長あいさつ

市役所定年後の5年間、松本市民館館長をしていました。そのご縁からか、里山辺公民館長にさせていただきました。

過去に松本城管理事務所長を経験したのですが、鬼川寺に初代松本城主、石川数正公の供養塔があるのにも、勝手ながらこの地域への奇縁を感じ、引き続き勤務できることを光栄に思ったところです。

何卒、ご指導、ご協力をお願いいたします。



里山辺地区地域づくりセンター

小松 可奈

4月から里山辺地区地域づくりセンターに勤務となりました。里山辺地区についてまだ分からないことがたくさんありますが、地区の皆様と日々接していくなかで勉強してまいりたいと思います。

人事往来

業務もまだまだ慣れず、分からないことばかりで皆さんにご迷惑をおかけしてしまふところがあると思いますが、これからどうぞよろしくお願いいたします。

退任のご挨拶

里山辺地区公民館 前館長

小幡 泰俊

住民の繋がりが地域の宝
公民館活動を通して
再認識した5年間

私こと、この度里山辺公民館長を退任いたしました。町会長様を始め、町会の役員の皆様、地域住民の皆様にも多大なご協力をいただきましたことに感謝申し上げます。私にとって地域と関わり合っていた5年間は、学ぶことが多く充実したものとなりました。殊にこれまで経験したことのない「新型コロナウイルス」の恐怖に襲われ、あらゆる活動が中止となったことで、地域から人々の姿が減少し、公民館に訪れる人も極端に少なくなりました。そのため、人々の繋がりが希薄となり、このような生活が3年間続きました。この間にコロナウイルスに対する対策も進み、それに追従する様にコロナ感染者も減少したことで、つい

には活動が再開できるまでに至りました。しかし、何もしなかったことで、煩わしさから解放されたことに慣れてしまいい、元に戻すことの難しさを痛感いたしました。紆余曲折はありましたが、今では以前の様に実施しています。地域には笑顔が広がり、人と人とのつながりが強くなる。これこそが地域の何物にも代えられない宝ではないでしょうか。今後益々里山辺地区が発展いたしますことを祈り申しあげ、お礼とさせていただきます。

里山辺地区福祉ひろば

堀川 三貴子

皆様、お世話になりました。皆様とのかかわりが私を元気にしてくれたと感じています。優しさや笑顔をありがとうございます。どうかこれからも健康な毎日をお送りください。

地域づくりセンター・保健師異動職員の紹介

保健師 藤森 満里菜
地域づくりセンター 本木 則彦

保健師・教育文化センター・新任職員の紹介

保健師 西澤 美佳
教育文化センター 波多野 葵

「兎川寺のお船」新しい姿でお目見え

県宝である兎川寺のお船の全面改修工事が完了し、今年須々岐水神社大祭に新しい姿を披露できました。およそ百年ぶりの大改修で多額の費用を要しましたが、町会の皆さんの長年の積立金と、市および県の補助金により、2年がかりで完成にこぎつけました。別に幕一式も新調し、すっきり綺麗な装いとなりました。

兎川寺のお船は天保初年(1831年)頃の建造と伝えられ、宝づくしなどの縁起物の彫刻で飾られています。擬宝珠柱の鶴亀の金具、螺鈿の外縁などが特徴です。岐阜県高山市の宮大工、木曾平沢の漆器店などの技術により、見事に美しく修復できました。

兎川寺町会の青壮年で組織する「お祭り保存会」の皆さんは、「これまでお船を守り抜いてきた町民の努力に敬意を表し、新装となったお船をこれからも守っていきたい」との思いで一杯です。

里山辺公民館 町会・各役員他

◆町会連合会・公民館長

◎は長 ○は副

町会名 町会長 公民館長

下金井	赤羽弘康	佐分祐大
新井	多田 健	柿澤英二
湯の原	金宇恵二	中野隆雄
藤井	花岡彰秀	早川千芳
上金井	矢崎茂昭	丸山 賢
薄町	赤羽房雄	篠田秀美
兎川寺	中村弘幸	澤柳 充
荒町	模 良太	中野泰行
西荒町	成田 満	櫻井英夫
北小松	豊島 実	鎌田俊彦
西小松	小野 忠	松尾 衛
南小松	倉田治全	小岩井健司
林	小岩井里美	柳澤俊彦
美里町	丸山英男	後藤泰裕
若里町	中谷利昭	清原由紀子
小松町	安藤善朗	平林憲一郎
◆子ども会育成会		
◎矢崎 基	◎安澤菜美	
◎土屋史子	◎小幡万里子	
◆人権啓発推進協議会		
〈町内〉	西原友美	鈴岡潤一
浅野亜弥	早川千芳	丸山 賢
高須陽介	太田由夫	成田由美子
丸山佳弘	小野 忠	倉田剛志
柳澤俊彦	後藤泰裕	矢澤和科美
三沢進一		
〈各種団体〉		
◎手島 学	矢崎茂昭	
◎小岩井健司	百瀬ひろみ	
日南田恵子	三木雅博	
堀田茂樹	小澤政一	
橋爪夕稀	宮澤一男	

矢崎 基 布野芳枝

◆里山辺公民館

公民館長 手島 学
公民館主事 市橋佑磨
会計年度任用職員 小松可奈

◆公民館運営委員

愛瀬三枝 成田 満 小岩井里美
櫻井英夫 橋爪夕稀 坂下正彦
小澤政一 小岩井登嗣治
石川水穂 横内敏之 矢崎 基

◆体育委員

〈本部〉◎横内敏之◎大嶋康弘
◎小島 勤

萩原健志 石川和也 萩原浩司
大和潔史 羽山盛治 尾上 久
大塚美穂 蓑島太郎 百瀬哲弥
百瀬一実 福田浩道 前田謹一

〈町内〉
平野忠大 大塚貴史 金井真太郎
上條 守 野澤義直 丸山素正
平林利裕 三輪 宏 鈴木芳幸
小岩井傑 田村 誠 目崎浩児
井口敏夫 百瀬和男

◆松本スポーツ推進員

萩原健志 東城日出子

◆文化委員

〈本部〉◎坂下正彦◎瀬木弥生
伊東観智子 布野けさ子 日南田尚久
佐々木雅子 篁 昇 芦田陽平

〈町内〉中土雅人 田中よし子
丸山貴世 赤木かよ子 篁 昇
高須陽介 小林浩之 天満俊孝
藤沢寿美子 丸山 博 井内実男
高木 進 栗田真二 瀧澤聡之
竹内正金 三沢進一

◆図書視聴覚委員

◎村本千絵美 ◎愛瀬三枝
千野三千代 重田美子 石川水穂

小田さおり 東城日出子 辻トメ子
◆館報編集委員
◎小岩井登嗣治 ◎浅海智広
上地昭一 西村孝也 丸山陽平
塩原 司 青木資子
(敬称略)



薄川沿いのハナモモ



上金井の枝垂桜



薄川沿いの桜と美ヶ原